

幼児に対する母親の叱り方に関する研究

—攻撃的な叱り方とストレスとの関係を中心に—

○ 芳野紀子 吉永奈美子 石崎奈緒美 篠原美代子 吉村律子

(白鷗大学)(白鷗幼稚園)(グリム保育園)(名崎保育園)

問題

最近子どもに対する親の虐待が子どもの心身の成長に非常に大きな傷害を与えることが注目されている。そこで幼児の親は実際に子どもにどのような態度でしつけをしているのか、またその際の程度攻撃的叱り方をしているのか、その実態を明らかにしたいと考えた。さらに、そのような攻撃的な叱り方が何故行われるのかについても明らかにしたいと考えた。親は子どもがどのような態度をした時に強く叱るのか。自分の叱り方についてどのように考えているのか。また、虐待する親の場合、世代間伝達という事が言われているが、それとは別に直接的な要因として親の育児ストレスが考えられる。そこで、親は育児についてどのようなストレスを感じているのか、ストレスをどのように解消しているかなど、親のしつけ態度とストレスとの関係を明らかにしたい。この研究から、子育て支援についての何らかの手がかりが得られることを期待するものである。

方法

母親の養育態度(主として叱り方)とストレスに関する調査用紙を作り、それを幼稚園や保育園のクラス担任に依頼し、配布した。

(1) 調査日時・場所

1997年8月-9月 小山市、結城市内の保育園3園

同年9月-10月 小山市内の幼稚園3園

(2) 対象者 各園の年長児の保護者に記入し

てもらい、母親の回答のみを対象とした

保育園 100名(男児55名、女児45名)

幼稚園 128名(男児65名、女児63名)

(3) 調査内容

育児の不安、ストレス、悩みに関する項目。しつけ、叱り方に関する項目。子育て親に関する項目。計37問。

結果

(1) 子どもの叱り方について

「お子さんをどのように叱りますか」に対する回答をまとめたところ、多かった順に、「口で注意する」、「怒鳴る」、「怖い顔をする」、「『ごめんなさい』と言わせる」、「たたく」となった。その他、言葉による攻撃的叱り方として「『遊んであげない』や『言いつける』などの脅し」、「『きらい』とか『ダメな子』と言う拒否」は7%、ひどい暴力として「つねる」、「ける」、「突き飛ばす」、「なぐる」、「物でたたく」などは、非常に少なかった(2%)。

子どもの叱り方

口で注意する	228%
怒鳴る	177%
怖い顔をする	162%
「ごめんなさい」と謝らせる	149%
たたく	119%

以上の結果に基づき、被験者を「たたく」などの暴力的な叱り方をすると回答した者とたたかない者とに分けて調査結果をまとめることにした。たたく群に分類されたのは、保育園の母親が53%(53名)、幼稚園では56%(72名)だった。男児・女児別では、男児の母親は、59%(71名)、女児の母親は、50%(54名)であった。このように、たたく群は、全体の50%以上を占めることが、明らかになった。

(2) どんな時に叱るか

たたく群もたたかない群も「うそをついた時」と「聞き分けがない時」にほぼ同程度に叱ることが多い。第3位は、たたかない群は、「意思表示がはっきりしない時」だが、たたく群は、「うるさい時」であり、第4位は、たたかない群は「うるさい時」と「動作が遅い時」が同点であるが、たたく群は、「動作が遅い時」が4位であり、「意思表示がはっきりしない時」は、15%と低くなっている。1位、2位は、親の教育的配慮と考えられ、たたく群もたたかない群も差がない。しかし、3位以下は、たたく群が、親の感情が優先した時に叱り、たたかない群が子どもの意思を聞こうとしていることがうかがえる。(有意差1%以下)

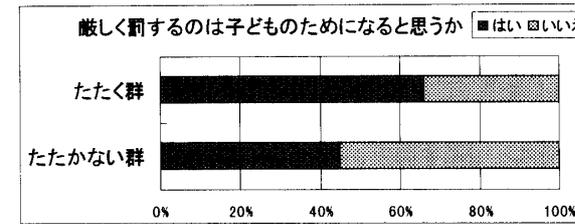
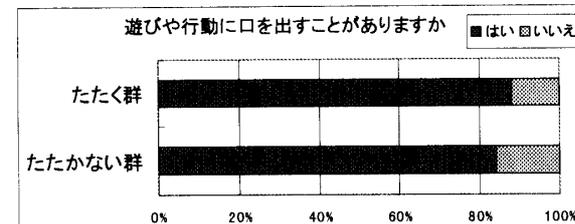
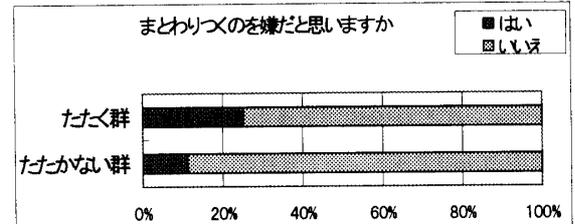
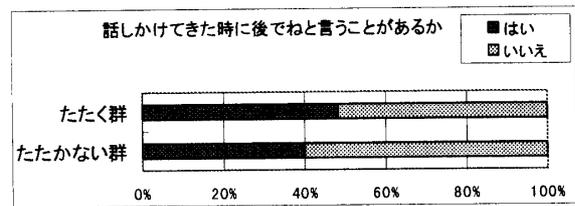
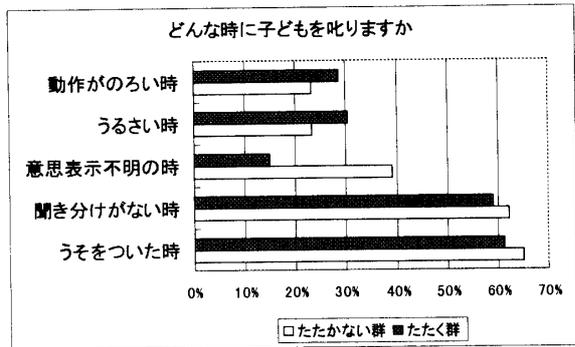
「お子さんがまとわりついてくるのを嫌だと感じることがありますか」では、「はい」と答えたのは25%以下と少ないが、たたく群の方が多い傾向である。

「『あれはダメ』『これはいけない』などとお子さんの遊びや行動に口を出すことがありますか」では80%以上の母親が「はい」と答えており、両群に差はない。

「悪い事をした時は厳しく叱ったり罰したりする事が、お子さんのためになることだと思いますか」では、たたく群は、66%が「はい」と答えた。たたかない群は44%と少なく両群の差が大きかった(有意差1%以下)。

(4) 悩み・不安・ストレスについて

「子育てをしていく中で悩みや不安・ストレスは

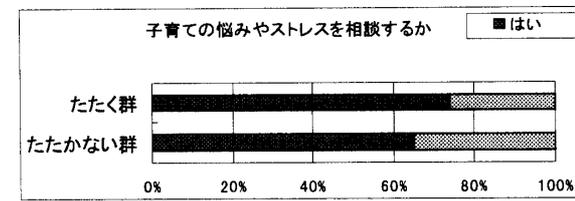
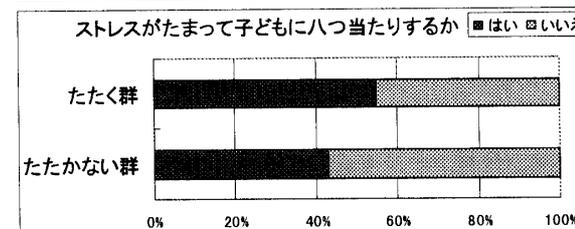
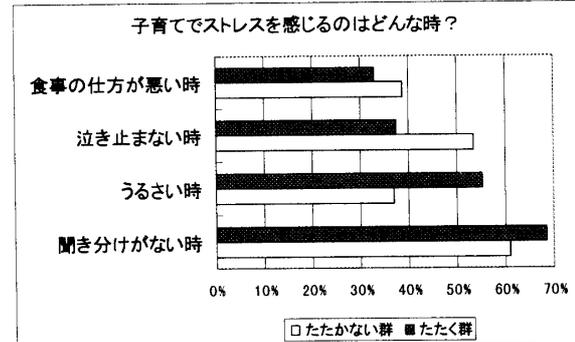
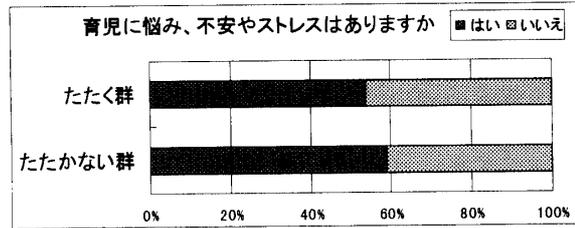


ありますか」では、半数以上が「はい」と答えており、両群に差はない。

「子育てにストレスを感じるのとはどんな時ですか」では、たたく群もたたかない群も1位は、「聞き分けがない時」である。たたく群は、2位は、「うるさい時」、3位「泣き止まない時」、4位「食事の仕方が悪い時」となっている。たたかない群は、「泣き止まない時」、3位「食事の仕方が悪い時」、4位、「うるさい時」となっている。

「ストレスがたまってしまう、お子さんに八つ当たりしてしまうことがありますか」では、約半数の親は、「はい」と答えている。たたく群の方がたたかない群より多い傾向がある。

「悩み・不安・ストレスを誰かに相談することが



ありますか」では、半数以上が「はい」と答えているが、たたく群の方がやや多い傾向である。

まとめ及び考察

以上の調査結果から幼児の母親は、叱る時に半数くらいは、たたくなどの体罰を与えている事が分かった。育児ストレスは、半分以上が持っており、子どもに八つ当たりもしている。たたく叱り方をする親とたたかない親ではストレスとを感じる子どもの行動やどのような時に子どもを叱るかに微妙な違いが認められた。たたく親の方が、子どもをうるさいとストレスを感じ、うるさいとか動作がのろいとかで叱ることが明らかとなった。また、子どもを厳しく叱ることが、子どもの教育上重要と考えている事も明らかになった。その一方、たたかない親は、子どもの意思表示が不明だと叱り、子どもが泣き止まないなど物事の分別がない時ストレスを感じる事が分かった。子どもを攻撃的に叱るのは、親がうるさいなどと感情的になり、子どもの意思を配慮しない事が関係していると考えられる。これらのことから、子育て支援には、母親の心理的ゆとりを支える事が必要と思われる。